

令和6年度 青森県特別支援教育研究会
第61回 肢体不自由教育部会研究大会 開催要項（第二次案内）

- 1 主 旨 特別支援教育に携わる教職員が、今日の課題について研究協議し、課題解決の方策を探る。
- 2 研究主題 「一人一人を生かす肢体不自由教育の在り方を求めて
 ～個別最適な学びを目指した授業づくり～」
- 3 主 催 青森県特別支援教育研究会 肢体不自由教育部会
- 4 主 管 青森県立弘前第二養護学校
- 5 後 援 青森県教育委員会
- 6 期 日 令和6年7月31日（水）
- 7 開催方法 オンライン開催（テレビ会議システムZ o o mによる）
- 8 会 場 青森第一養護学校、青森第一高等養護学校、弘前第二養護学校、
 八戸第一養護学校、及び参加者所属校

9 日 程

時 間	内 容
9：40～ 9：55	接続確認
9：55～10：00	事務連絡
10：00～10：15	開会行事（部会長挨拶）
10：15～12：00	講演（90分）、質疑応答（15分）
12：00～13：00	昼食、休憩
13：00～13：05	分科会グループ分け
13：05～13：15	発表者・助言者紹介、実施方法説明等
13：15～13：55	分科会（発表30分、質疑応答10分）
13：55～14：10	休憩（15分）
14：10～15：15	分科会（協議50分、助言15分）
15：15～15：20	閉会行事（次期主管校挨拶）

10 講演

講師：筑波大学 非常勤講師 下山 直人 氏

テーマ：「障害の重い子どもの授業づくり～各教科の授業で大切なこと～」

11 参加対象者 肢体不自由教育に携わる教職員及び特別支援教育関係者

12 分科会及びテーマ

分科会	学部・話題提起テーマ	学校名	助言者
1 準ずる 教育課程	○中学部 「書くことが苦手な生徒に対する I C T 機器を活用した個別最適な学び ～数学科を中心とした取り組み～」 教科領域等：数学科 キーワード：I C T 機器、デジタル教科書、主体的な学び	八戸第一養護学校	弘前第二養護学校 教頭 西村 美貴 氏
2 自立主の 教育課程	○小学部 「児童の表出行動を促すための自立活動における授業づくり ～合同学習「運動遊び」の授業改善～」 教科領域等：自立活動 キーワード：表出、姿勢づくり、やりとり、揺れ刺激	青森第一養護学校	八戸第一養護学校 教頭 外崎 毅 氏
3 情報教育 支援機器	○小学部 「自立活動主の教育課程で学ぶ児童への I C T を活用した授業実践 ～算数科「形の概念形成」における取組～」 教科領域等：算数科 キーワード：主体的な学び、I C T、校内授業サポートシステム	弘前第二養護学校	青森第一高等養護 学校 教頭 越膳 一也 氏
4 進路指導	○高等部 「適切な進路選択のための自己理解」 教科領域等：職業、自立活動 キーワード：働く意義、自己理解、進路選択、保護者	青森第一高等養護 学校	青森第一養護学校 教頭 柿崎 修子 氏

13 参加申込みについて

- (1) 「参加申込用紙」（別紙1）に必要事項を記入し、大会事務局まで電子メールまたは F A X で申し込みをする。分科会希望の記入については、「分科会概要」（別紙2）を参照。
- (2) 事務局校ホームページにも申し込みフォームを設置し、参加を受け付ける。
- (3) 参加申し込み締切は、7月5日（金）とする。

14 その他

- (1) Z o o mで各校をつないで実施する研修と講演をもって、大会参加とする。
- (2) 各自、自身の所属校から、Z o o mによるオンラインビデオ通話で参加する。
- (3) 参加方法の詳細や会場の配置図等については、事前に送付する参加要項に掲載する。
また、ミーティング I Dとパスワードは、参加校および参加者に対して後日周知する。

15 研究大会事務局

肢体不自由教育部会 事務局（担当：教諭 辻村義樹、教諭 川村優子） 〒036-8385 青森県弘前市大字中別所字向野 2 2 7 - 6 青森県立弘前第二養護学校 TEL/FAX 0172-97-2511 e-mail : tsujimura-yoshiki@m02.asn.ed.jp
--